

あなたと議会を結ぶ情報誌

令和元年11月

No.198

議会だより はこね

このたびの台風19号により被災された皆さまに
心よりお見舞い申し上げます。



10月6日 仙石原地区健民祭
地区別対抗リレー

条例改正

- 箱根町印鑑条例の一部を改正する条例の制定について
※住民票に旧氏を現在の氏と併記した場合、印鑑登録証明書にも旧氏を併記的マイノリティーへの配慮として、印鑑登録証明書に男女の別を記載しない
- 箱根町立宮城野保育園条例及び箱根町幼保連携型認定こども園条例の一部を改正する条例の制定について
- 箱根町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- 箱根町水道法施行条例の一部を改正する条例の制定について
- 箱根町消防団の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 箱根町手数料条例の一部を改正する条例の制定について
- 箱根町立幼稚園保育料条例の一部を改正する条例の制定について
※3歳児～5歳児も保育料を無料とする
- 箱根町立幼稚園預かり保育条例の一部を改正する条例の制定について
※幼稚園の預かり保育を利用するこどものうち、対象となるこどもについて利用料が無償化されることにあわせ、本町独自に町立幼稚園の預かり保育料を無料に

9月
定例会

会期
8月28日から
10月1日まで

可決(13件)

条例改正
8件

補正予算
3件

工事請負契約
2件

認定
平成30年度
各会計決算
12件

同意
人事案件
2件

補正予算

1. 令和元年度箱根町一般会計補正予算(第2号) ※質疑の抜粋は隣のページに掲載

補正額 3億4,761万1,000円追加 ⇒ 補正後の総額 108億9,469万1,000円

主な内容	元箱根老人憩の家解体工事	360万8,000円
	介護施設等整備補助金	4,115万1,000円
	携帯型外国語翻訳機導入促進補助事業	195万円

2. 令和元年度箱根町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

補正額 975万3,000円追加 ⇒ 補正後の総額 3億5,325万3,000円

3. 令和元年度箱根町介護保険特別会計補正予算(第1号)

補正額 3,195万4,000円追加 ⇒ 補正後の総額 14億195万4,000円

決算認定

平成30年度箱根町一般会計および9特別会計並びに2事業会計の剰余金の処分および歳入歳出決算の認定について

工事請負契約

- 工事請負契約の締結について ①工事名、②落札業者、③契約金額
- ①本庁舎空調調和設備整備工事、②大成温調松尾配管所共同企業体、③1億4,927万円
 - ①総合保健福祉センター整備事業、②株式会社勝俣組、③8,140万円
※さくら館の1階ロビー、3階温水プールの吊り天井等の改修

人事案件

- 教育委員の任命について 田崎 吾郎さん
- 人権擁護委員の推薦について 勝俣 仁さん

一般会計補正予算（第2号）で行われた質疑

（携帯型外国語翻訳機導入促進補助事業）

Q：事業内容は？

A：スマートフォンよりも小さいサイズで、日本語で話しかけると英語や中国語に翻訳し、音声で答えてくれる機械。旅館組合に加盟されている宿泊業や小売店に補助する。

Q：補助内容は？

A：市販されている翻訳機は、1台1万円から3万円前後なので、購入した機器の半額もしくは1台税込みで1万1,000円を上限。

Q：今回の補正予算195万円で何台を見込んでいるのか？

A：旅館組合分として、107台分と、追加の翻訳機を希望された場合の予備55台分。小売店分としては100台分を見込んでいる。



工事請負契約の締結で行われた質疑

（総合保健福祉センター整備事業 吊り天井等改修工事）



Q：事業内容は？

A：平成25年7月に建築基準法施行令の一部改正及び天井脱落対策に係る一連の技術基準告示が公布され、特定天井に該当する場合にはこれらの技術基準に従って脱落防止対策を行うことを義務化された。

Q：工事内容は？

A：1階ロビー及び3階温水プールの天井
3階のプール室の床、休憩コーナー天井、男子トイレ
4階のプールギャラリー立上り側面

Q：工事期間は？

A：令和元年9月9日から令和2年3月13日

議員別議案賛否一覧（賛否が分かれた議案のみ賛否状況を掲載しています）

議案番号	議案名	議決結果	議員														
			山田和江	勝俣公好	勝俣泰彦	川口延明	勝俣剛一	小川鶴雄	村野由紀子	川端祥介	山田成宣	稲葉親太郎	遠藤秀則	石川栄	折橋尚道	沖津弘幸	
47	箱根町手数料条例の一部を改正する条例の制定について	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
52	令和元年度箱根町介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
53	平成30年度箱根町一般会計歳入歳出決算の認定について	承認	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
54	平成30年度箱根町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	承認	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
55	平成30年度箱根町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	承認	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
56	平成30年度箱根町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	承認	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

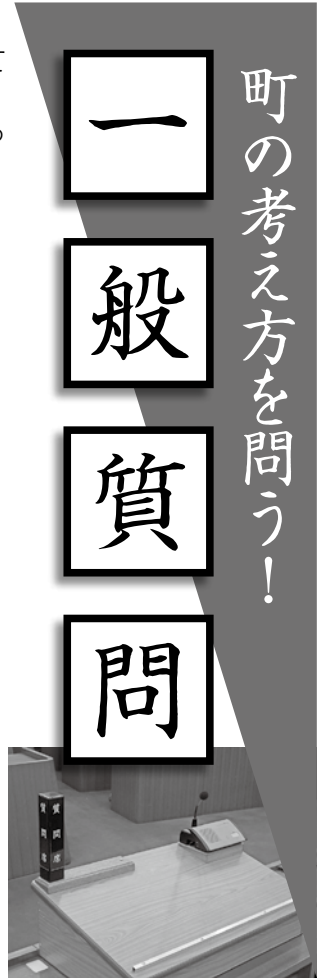
※2 ○：賛成 ×：反対 -：議長は採決に参加しません。

質問者及び質問項目は、下の表のとおりです。原稿については質問議員が作成しています。

なお、掲載にあたっては紙面の都合上、質問内容、回答共に、抜粋したものととなっておりますので、ご了承ください。

質問者	質問項目	ページ
山田 成宣	・子育て施策について ・定住化対策について	4
石川 栄	・プラスチックごみによる海洋汚染問題に対する町の取り組みについて ・熱海市及び箱根町間における一般廃棄物処理に関する緊急時相互援助協定の締結について	5
川口 延明	・高齢者の免許返納と移動を支える支援策について ・今後の観光施策について	6
川端 祥介	・箱根町のAI（人工知能）等の見解と考え方について ・小学校プログラミング教育の対応について	6
村野由紀子	・提供表示式・救急キットFAIについて ・認知症の方や家族を応援するまちづくりについて	7
勝俣 泰彦	・金時公園の駐車場増設について ・金時山や金時公園等のPRIについて	7
山田 和江	・大涌谷対策について ・ごみ処理広域化について	

※ **Q**は議員の質問、**A**は町側の回答です。



私立小・中学生にも補助を！！

町 — 子育て施策の充実を図っていく



Q 私立小学校・中学校に通学している家庭にも何らかの補助を考える時代に来ているのではないかと。私学に通う子どもたちの未来のためそういったことに期待している町民も多くいる現状だと把握していただきたい。

A 町長 すべての子ども、すべての子育て家庭等の視点に立ち、結婚・妊娠・出産・育児・育成まで切れ目のない支援を行い、それぞれのニーズに応じた子育て支援施策を更に進める。

Q 本町の将来を見据えた場合、町の活力維持、活性化のため、子育て世代への支援を中心に定住化施策の更なる充実が必要だと考えるが、町の方針を伺う。

A 企画課長 子育て世帯の住民が、何を行政に期待しているのか、私学への補助といった事例も含め把握しながら、箱根町としてしっかりと判断し、今後とも子育て施策の充実を図っていく。



山田 成宣 議員



プラスチックごみの海洋汚染問題に対する町の取組みは

町 — 県の意向に従い、町としても協力の考え



石川 栄 議員



Q 県は平成30年「かながわプラごみゼロ宣言」を発表したが当町の今後の関わり方について。

A 町長 各種団体との連携の輪を広げ賛同、町として「ごみ持ち帰り運動」「観光地ごみ清掃定期実施」「プラごみ減量化・資源化推進」を進める。本年8月第57回美化大会において自己啓発「マイエコ10、プラごみ宣言バージョン」の登録呼びかけプラごみゼロ啓発運動実施協力を求めた。

Q 2050年には海に流し出すプラスチックが、魚の量より多くなると懸念される、海に流出した場合、小さな破片「マイクロプラスチック」に変化し、ワジラ、海鳥、ウミガメが食べ生態系に変化を生じる。私達「至誠会」は7月に県庁を訪れ県職員との意見交換会を実施した。観光客2000万人の箱根で「プラごみゼロ」宣言していただければ県としてもしっかりとバックアップしたいとの強い意向を示した。町としての今後の考えを伺う。

A 副町長 「かながわプラごみゼロ宣言」に箱根町環境基本計画改定の際、国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」との整合を図り現代社会に求められている環境施策の礎を確立していきたいと考える。

高齢者の運転免許返納への支援策を

町 — 高齢者福祉の向上を図っていきたい



川口 延明 議員



Q 高齢者の運転免許返納により病院や買い物に行きにくくなるなどへの考え方は。

A 町長 今年1月から7月までに町内で自動車運転免許証の自主返納者は21人となっており、全体の約1%に留まっている。
この背景には、本町の地理的な特徴として、山坂が多く、高齢者にとってバス停や駅まで出ていくことが大変であり、援助者がいないと公共交通機関を利用できなかったりすることから、自家用車を手放せない方が多いのではないかと。しかし、これだけ高齢者の事故が増えている現状をみると、運転免許証の自主返納に関する相談窓口や制度について、わかりやすく、広く周知していかねければならないと考えている。

Q 判断力の低下した高齢者が運転し、事故を起こすことは、本人だけでなく、その家族まで不幸にしかねないことであり、場合によっては、被害者をつくってしまうことになりかねない。

A 福祉課長 高齢者の事故防止の観点から考えると運転免許証の自主返納制度の活用を進めていく必要があることは十分理解しているところである。今後も制度に関する内容の周知や、自主返納を推進する施策の検討をしていきたいと考えている。

箱根町のAI (人工知能) の活用は

町 — 情報施策推進リーダー会議の開催や、大学との連携を検討していく



川端 祥介 議員

Q 本町のAI活用に関する見解と、導入への現状と課題、将来への取り組み指針と考え方を伺う。

A 町長 自治体の業務は、本来、人と人との対話の中で、課題を的確に質の高いサービスを提供するのが、基本と考えている。この基本を踏まえつつ新しい技術を本町において、どの分野に導入することが、町民サービスの向上と、持続可能な自治体構築につながるのか、見極めた上で、方向性を決めていきたい。今後の方針については、基本的に国の動向や先進事例をみながら研究を進めていきたい。また、負荷のかからない形で情報化施策推進リーダー会議の活用を検討していきたい。

Q 来年度より小学校で、必修となるプログラミング教育について、教育内容や教員の指導方針などについて伺う。

A 教育長 プログラミング教育については、これまでに経験のない教育であるが、教員の養成や研修は、大変重要であると認識している。このため、教職員研修については、ICT支援員を活用するほか、個別指導も行う。また、保護者にプログラミング教育の実際をPTA総会や授業参観の機会に実感していただくことも大切であると考えている。



提供表示式救急キットFA・認知症の方や家族を応援するまちづくりを

町 — 調査・研究をしていく



村野由紀子 議員

Q 提供表示式・救急キットFA (通称FA) は、有事の際に助け合う街づくりを目的とした唯一の救急キットである。中には、人工呼吸に必要なフェイスシールドや消毒液、手袋など衛生管理に配慮した上質なアイテムが入っている。FAを店舗や施設等に設置し、FAステッカーを貼ることで、FAの所在を伝え必要な人に迅速にFAの提供が可能になる。公共施設や公用車などへ設置することについて。

A 町長 安心、安全なまちづくりを推進するために調査研究していく。

Q 大涌谷のシェルター内へのFAを設置する必要性について。

A 総務防災課長 大涌谷園地安全対策協議会内での検討議題に乗せるよう進言する。

Q 認知症の方への声かけや通報訓練を認知症サ

ポーターにも協力してもらい地域が一体となって行う模擬訓練の実施について伺う。

A 福祉課長 調査・研究をする。

Q 認知症の方が事故にあったり、自らが加害者となって事故を起こす事件が起きている大和市では、市が保険料を全額負担して個人賠償責任保険と傷害保険に加入する支援を行っている。愛知県大府市では、認知症に対する不安のないように推進条例が施行されたが、このような取組は必要ではないか。



金時公園の駐車場増設及び金時山や金時公園等のPRを

町 — 名称を記するだけでなく、いわれを書いた説明版を設置していく



勝俣 泰彦 議員

Q 金時公園の駐車場増設計画について伺う。

A 町長 金時公園駐車場は、トイレを含めた公園を利用者の駐車場であり、必要数を満たすものである。今後は看板等設置により、公園利用者の駐車場である旨通知を徹底し管理していく。

Q 金時山や金時公園等のPRについて伺う。

A 町長 ハイカーに分かりやすく案内するため先行や時間を表示した標を設置している。

「金時登山道における金太郎伝説に纏わる説明版破損等に伴う整備計画」であるが、金時神社奥の院や、宿石、蹴落とし石、蹴鞠石等伝説にちなんだ場所に標柱を設置しており、一部が消失や破損等老朽化が進んでいる。今後整備を行うっていくが、名称を記すだけでなく、そのいわれを書いた説明版を設置し、ハイ



カーに金太郎伝説を見ていただくことで、仙石地域の歴史にも触れて頂けるようにしていく。

Q 金時山等のPR不足について伺う。

A 観光課長 金時山はパンフレット等様々な媒体で宣伝している。近年はICT環境の発展普及により、スマートフォン等で観光スポット等手軽に情報を入手できるようになっていく。

QRコードを利用した情報提供も一般化しており、PR手段の一つとして今後検討していく。

「レベル1」の設定基準の根拠は厳しいのでは

町 — 「レベル1」と何ら変わらない状況で立ち入りできないことに釈然としない思いがある



山田 和江 議員

Q 大涌谷への立ち入り規制はおおよそ一ヶ月位との予想は見事に裏切られ、夏休みが来ても、9月に入っても立ち入ることができない。同時にロープウェイも止まったままで観光への影響は大きく事業者の中には長引く規制に不安という立ちを口にして

A これから箱根の観光は最盛期である秋の観光へと移っていく。1日も早く園地への立ち入りができる「レベル1」へ引き上げが強く望まれる。そこで、大涌谷への立ち入り規制への質問をする。「レベル1」に引き下げられるには、地震の回数は9回以内などの基準が設定されているが、この根拠について伺う。

A 町長 判定基準の中で地震回数は1ヶ月合計9回以内、地殻変動は具体的数値は設定されていない。現在の判定基準は「レベル1」と何ら変わらない状況でも立ち入



りできないことに釈然としない思いがある。

Q 国会議員、県会議員とともに、気象庁に判定基準のことで行ってきた。地震回数は10回、11回でもその回数が減ることなのでいいんだと言っていた。機械も精巧になっただけで今まで見落とされてきたものが今回のようなことになっただけと感ずる。大変厳しいのではないかと。

A 町長 先日横浜気象台長がみえた時にレベルの決め方どうなんだ、何が根拠かと話をした。

特別委員会

評価したり、今後の行財政運営の改善に役立つ大切な意義があります。

9月定例会の本会議において平成30年度の決算認定議案が上程され、議会として審議内容が多岐にわたるので直ちに特別委員会を設置いたしました。

決算特別委員会は正副議長と監査委員を除く11名の議員で構成され、町当局より関係職員の出席を求め、4日間の会議を行いました。歳入関係19件、歳出関係61件、総括質疑で4件の事項について、町側に詳細な内容の質疑をいたしました。歳入では115億8,259万円、歳出111億4,912万円、差引で黒字となっておりますが、内容的にはふるさと納税や固定資産税の超過課税で黒字を保っていることであり、深刻な財政状況であることには変わりがない。今後も限られた財源でさらに効率の良い運営に心がけるよう要望しました。

決算特別委員会
委員長 川口延明



決算特別委員会の様子

審査のチェックポイント

～歳入編～

町税等の収入の
状況確認
補助金の確保の動向
町債等の動向
その他の収入動向

～歳出編～

支出の適法適正の動向
不要額の妥当性
予算流用の適正状況
予備費の充当の適正度
補助金の効果
その他留意事項について
主な施策の成果の活用
財産に関する調書明細書の活用
基金の運用状況の審査
財産運用の適否の判断
仕事の出来高と出来具合の審査



平成30年度予算は
こちら

決算認定までの流れ

決算とは予算執行の結果、どのような成果があったかを示す成果報告で、会計年度が終わってから、時間をかけて慎重に審査を行います。

平成31年3月31日
会計年度終了



令和元年5月31日
出納整理期間終了

- ・会計管理者が町長に決算を提出
- ・監査委員が決算審査し、町長に意見書を提出

※監査は小嶋税理士、小川議員が厳正に行いました。



令和元年
9月定例会

町長が監査委員の意見書を添えて議会に上程



決算特別委員会での審査
(質疑)
開催日 9月17、18、20日
審議時間 午前9時～午後5時



討論を経て各会計ごとに採決



全員賛成または賛成多数で認定

※3ページ、議員別議案賛否をご覧ください。



決算特別委員会
の様子

平成30年度 決算を審査!! 決算

決定した予算が適正に執行されたか審査し、その行政効果や経済効果を

ここに注目!! 具体的な審査内容



決算の概要は、町広報紙
11月号に掲載しています。

歳入編

- 固定資産税
 - ・徴収状況と徴収率向上対策について
- 不動産売り払い
 - ・土地売り払い収入および立木売り払い収入について
- 町民税
 - ・不納欠損（徴収を諦めること）の決定理由
- 国民健康保険の保険料について
- 認知症施策推進の効果と現状の課題について
- 下水道接続率の向上と雨水流入対策について
- 下水道維持管理と運営状況について
- 起債（借入金）による財政負担と将来負担に関する考え方

歳出編

- ごみ減量化・再利用推進事業
 - ・有料化による減量化の効果について
- ふるさと納税促進事業
 - ・謝礼品について
- 観光情報推進事業
 - ・道路状況カメラの購入・維持管理について
- 芦ノ湖周辺環境整備事業
 - ・ボート処分による芦ノ湖景観の保全事業の効果について
- 箱根関所誘客宣伝事業
 - ・誘客宣伝の方法について
- いこいの家経常経費
 - ・経常経費の内容について
- 介護サービスについて
- 認知症施策推進の効果と現状の課題について

討 論 このような理由で賛成／反対

賛 成 至 誠 会

歳入から歳出を差引くと黒字となり、健全財政の堅持という基本理念に合致する。経費節減、各補助金の確保を図ることにより、諸事業は効率よく執行しており、適正であると認める。しかし、今後続く公共施設改修等で、建設事業の支出と共に起債見込まれており、財政の硬直化は避けられない。議会も町財政に対して日々検証していく必要があり、当局も財政状況の変化については報告協議を活発にすることを要望し、本決算を賛成とする。

賛 成 緑風クラブ

歳入においては収入未済額は改善されてはいるが、負担の公平性の観点から毅然とした態度で対応し、収入未済額の減少に努める。歳出においては、歳費の節減に積極的に取り組み行政のスリム化をさらに進め、住民ニーズをしっかり把握する。固定資産税超過課税の継続で黒字は確保しているが、今後も慎重な財政運営に努め、町民が安心して暮らせる身の丈に合った強い箱根を目指し、町政運営を進めていくことを要望し、賛成とする。

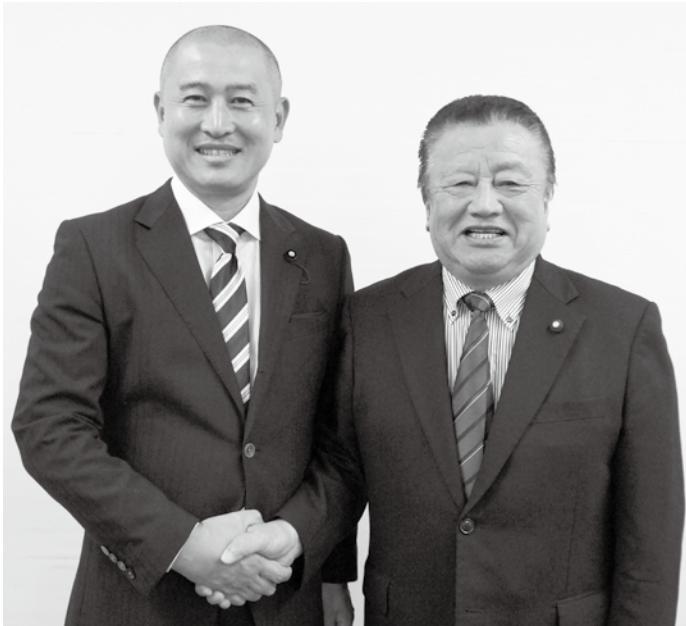
賛 成 公 明 党

箱根町行財政アクションプラン策定後、未達成の項目や改革すべき項目を集中して取り組まれたが、多額の財源不足が生じ、平成28年度から3年間、固定資産税の超過課税を行った。このような中で、233件の事業を実施し展開した。各事業の執行に進展が図られ目標に向かって努力されたが、依然として財政状況は厳しく各事業の取り組みを検証し、事業の見直しも必要と考える。今後も住民サービスの向上に努め積極的な対応を期待する。

反 対 山田 和江 議員

一般会計では、固定資産税の超過課税を行いながら、国際観光ホテル整備法による不均一課税で2,729万円が徴収されていないこと。消防職員の段階的削減の最終年度であったが、組織改善どころか警備人員の確保が問題になっていることなど。国保では広域化に伴い、滞納者への差し押さえ件数が2.4倍に増えていること。後期高齢者医療では、均等割の軽減が減らされること。介護では保険料の引き上げが行われた結果、滞納者が増加したこと。

10月1日 新正副議長決定!! 委員会の構成も新たに



副議長
山田 成宣

議長
石川 栄

9月本会議におきまして、箱根町議会議長及び副議長に推挙を賜り、身に余る光栄でありますと共に身の引き締まる思いでございます。

二元代表制の一翼を担う町議会の果たすべき役割は、大変重いものであり、議員は町民皆様の身近にあって、意見をきめ細かく町政に反映させる責務を担っていることを常に忘れないよう心掛け、政策提言をさらに活発に行い、町政発展に全力を尽くしてまいり所存でございますので、皆様の一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

議会運営委員会

当委員会は、議会を円滑、効率的に運営するために設置されています。

議会の日程や、会期、議案、一般質問の取り扱いを議会招集前に協議します。

また、議長の諮問事項として議会の諸規定等の起草及び先例解釈、運用等も協議を行います。

他にも議会の会議規則や、委員会に関する条例等に関する事項の調査を行い、陳情等も審査します。



左から
後列 稲葉親太郎 遠藤秀則

前列 勝俣公好 副委員長 村野由紀子 委員長 沖津弘幸 勝俣剛一

総務企画観光常任委員会



左から
 後列 勝俣公好 川端祥介 小川鶴雄
 副委員長 委員長
 前列 折橋尚道 勝俣剛一 稲葉親太郎 石川栄

テーマ

私たち委員会の閉会中に実施する調査研究の重点項目は次の5点といたしました。

- ①定住化及び人口減少
- ②防災関係
- ③観光産業
- ④国際交流
- ⑤町税関係

教育福祉環境常任委員会

テーマ

私たち委員会の閉会中に実施する調査研究の重点項目は次の5点といたしました。

- ①環境問題
- ②さくら館の活用
- ③箱根教育
- ④子育て支援
- ⑤少子高齢化



左から
 後列 川口延明 遠藤秀則 山田和江
 副委員長 委員長
 前列 沖津弘幸 勝俣泰彦 村野由紀子 山田成宣



議長選挙に対しては所信表明の希望者が2名あり、副議長選挙は1名の希望者がありました。

議長・副議長
 選挙前に
 所信表明会を
 実施！



分かりやすい 紙面作り

- ・手に取り、読まれ、行動に結び付ける
- ・情報をすべて盛り込まず、時には捨てることも必要
- ・読まれるきっかけとして、住民の関心が高いテーマを取り上げる
- ・住民に知ってほしいことは丁寧に解説
- ・住民目線に立った編集

以上を踏まえ、2年間議会だよりの編集発行をしていきます。

広報広聴委員会



左から
 後列 村野由紀子 稲葉親太郎
 委員長 副委員長
 前列 折橋尚道 川口延明 勝俣泰彦 勝俣剛一

我が家の自慢



家族の一員になって13年、
日々の生活も家族になりきっています。

箱根地区 渡邊さん

トイプードルの
ルナちゃん

シュナプー*の
ヒナちゃん

*シュナプー…シュナウザーとプードルのミックス

次号以降に掲載するペットを募集しています。

50文字以内の紹介文、飼い主の名前、可愛がっている動物の名前と住所、電話番号を明記の上、写真を郵送またはEメールにて議会事務局まで提出ください。(名前と地区を掲載) web_gikai@town.hakone.kanagawa.jp
なお、写真によっては掲載不可能な場合もありますので、ご了承ください。

12月定例会の日程(予定)

12月3日(火)、11日(水)、13日(金)

※11月26日開催の議会運営委員会において決定いたしますので、変更となる場合があります。
詳しくは、議会事務局(☎85-9570)までお問い合わせいただくか、町議会ホームページの議会カレンダーをご覧ください。

～ 皆さまの傍聴をお待ちしています ～

広報広聴委員会

委員長
副委員長
委員

折橋尚道	稲葉親太郎	村野由紀子	勝俣剛一	勝俣泰彦	川口延明
------	-------	-------	------	------	------